

市民活動をFMラジオで発信！！ 『つなげよう！市民のチカラ！』

○第23回：2017年3月26日（日）

○ゲスト：認知症の人と家族の会

青森県支部 東谷 康生さん



東谷さん

□ 放送内容

今回の放送では、「認知症の人と家族の会」青森県支部にて、弘前地域世話人を務める東谷康生さんをゲストにお招きしました。

「認知症の人と家族の会」は全国47都道府県に支部があり、1万1千人の会員が力を合わせて、「認知症があっても安心して暮らせる社会を創ろう」をスローガンに活動しています。放送の中では、認知症に関する基礎知識や、認知症患者のかたへの接し方などについてお話しいただきました。

□ 認知症の基礎知識

現在、全国では462万人もの認知症患者の方々がおり、その他にも約400万人の認知症予備軍の方々がいるとされています。平均寿命が延びたことにより、認知症を患う人の人数も増えていると考えられていますが、近年は高齢者の方々だけではなく、若年層の認知症患者の数が特に増えているとのことです。

意外と身近な認知症なのですが、周知が進んでいない状況があります。「認知症というものは誰でもなるものであって、ネガティブなものということではなく、もっと認知症というものをしっかり知っていただきたい。認知症になったからダメということではなく、その後も楽しい人生が待っていますよということを伝えていかなければならないと思っています。」と東谷さんはお話していました。

□ 認知症の人への接し方

友人や家族など、親しい人が認知症を患うことで、どのように接したらいいのかとまどうことがあるかと思います。その不安に対して東谷さん曰く、「（接し方は）変えなくていいです。認知症って病気なんですけど、糖尿病だとか癌だとかっていう病気になっても、多分、周りの人の接し方は変わらないんですよ。ただ認知症ってなってしまうと、違う人になったかのような誤解をしてしまう。認知症になったとしても、1年前、5年前と同じような関わり方を続けていただければ、本人も安心なのかなと思いますね。」とのことでした。

<つどいの日などがチェックできます>

認知症の人と家族の会 ホームページ：<http://www.alzheimer.or.jp/>